

☆キラリ☆ 教育活動に創意工夫を！

創意工夫のある取組や効果的な取組をしていらっしゃる学校を紹介するコーナー。今回は、今年度から義務教育学校になった玄海みらい学園の取組を紹介します。

玄海みらい学園 義務教育学校としてスタート

1 前期課程(小学部)の先生が後期課程(中学部)の教科を担当

玄海みらい学園は、2年前から小中一貫教育に取り組み、そのころから中学部の先生が教科の専門性を生かして小学校の授業をしていらっしゃいます。義務教育学校となった今年度は、小学部の先生が小学5年担任をしながら7年生(中学1年)の社会科を担当するという運用をしておられます。中学校社会科の免許をおもちのその先生から話をうかがいました。



- ・ 昨年度6年生を担当していたのでよく知っている子供たちだったが、7年生(中1)になったときは目の色が違ってやる気満々な姿に驚いた。自分の方が緊張してしまった。
- ・ 中学部社会科の授業において、資料の見方など、小学部の学習を想起させながら指導することができる。また、系統性が分かり、小学部の授業に生かすこともできる。
- ・ 学習内容が予想以上に多く、授業時間内(50分)に収めるのに苦労する。2年前から小中で同じ職員室にいるが、昨年までは中学部の先生方の苦労や工夫が分からなかった。中学部の先生方の教材研究の深さに気付かされた。
- ・ 生徒の様子や、後期課程(中学部)の先生方の授業準備にかかる時間や生徒指導面での大変さを小学部の先生に話している。わざわざ小中連携の話合いの時間を設定しなくても話せるのがよい。

2 9年間で子供を育てる仕組み

- ① 4・3・2制
基本的に4・3・2制。小学1～4年生が初等部、小学5・6年生と7年生(中1)が中等部、8年生(中2)・9年生(中3)が高等部。
- ② その他
授業は、1～4年生が45分、5～9年生が50分。
体育大会は、前期課程と後期課程が一緒に行う。小学6年生は前期課程のリーダーとして応援合戦等で活躍する機会を作っている。
委員会は、1～4年生と5～9年生で分かれる。1～4年生はミニ委員会として活動し、5～9年生は児童生徒会専門委員会として活動。
今後は、カリキュラム編成や部活動についても義務教育学校の特色を活かした取組を行うよう検討をしていく予定である。



一部ではありますが、玄海みらい学園の取組を紹介しました。一般的に、小中連携・小中一貫教育を進めれば、「教員の児童生徒理解の向上」、「中学生の不登校の減少」等に効果があると言われています。玄海みらい学園は義務教育学校1年目ですので、これから取組の効果が出てくるだろうと思いました。

学級経営スキルアップ研修会

経験年数 10 年未満の先生方を対象に、日々の指導の充実を図ることを目的として、学級づくりに係る知識や方法を学ぶ自主的な研修会を開催しています。

第 1 回「学級集団づくりのポイント」 6 月 23 日(金)

講義「よりよい学級集団づくりのポイント」のあと、参加者同士で情報交換をしました。

情報交換会は、グループで「今までやってよかった取り組み」、「困っていること」、「改善策・解決策」などを話し合いました。研修を通して、参加者同士のつながりを作るきっかけにもなっていると感じました。

参加者の声

- ・ 交流が楽しかった。
- ・ 同世代の先生方と話をして安心した。



第 2 回「授業づくりは学級づくり」 7 月 26 日(水)

学習規律と西部型授業について、講義と演習を行いました。



参加者の声

- ・ 日頃悩んでいることの解決方法だったり改善点だったりを取りあげて講義や演習をしてくださるので、すぐ実践につなげることができ、大変参考になりました。
- ・ 自分の中の引き出しが増えたような気がします。次は使えるようになるために、2 学期から実践していきたいです。

★ 今後の開催予定

第 4 回 8 月 25 日(金)「通常の学級における特別支援教育の充実」～教室で困っている子の理解と対応～

第 5 回 9 月 29 日(金)「いじめ・問題行動等の対応について」～未然防止の視点から～

★ 申込み

参加者本人の電話一本で OK です。生徒指導班までお気軽にお問い合わせください。

☎ 直通電話番号 **0954-23-3332** (武雄で にいさん さあさあみなにっこり)

バックアップ

ニーズにお応え、
学校支援!

嬉野市立吉田小学校、嬉野市立吉田中学校の合同授業研究会

吉田小学校と吉田中学校は、今年度から佐賀県児童生徒の活用力向上研究事業の指定を受け、11 月 10 日(金)の公開授業に向けて、合同授業研究会を実施していらっしゃいます。また、平成 27 年度から嬉野市教育委員会の研究指定を受け、豊かな人間関係をもった児童生徒の育成の実現に向けて、小中一貫した指導の積み重ねを通じた授業づくりの研究に努めておられます。

研究授業は、6 月 20 日(火)に吉田小学校で 5 年算数科「式と計算」の授業を、6 月 23 日(金)に吉田中学校で 1 年数学科「文字と式」の授業(T.T)をされました。どちらの授業も、伝え合う力の育成を図るために「友だちタイム」を設定し、ねらいをもって説明する活動を取り入れられていました。子どもたちが積極的に自分の考えを話したり、友だちの考えを素直に聞き取ろうとしたりする姿が随所に見られ、とても素晴らしい授業でした。

事後研究会では、課題提示の工夫、子どもの発表のつなげ方、小中連携を意識した授業づくりと、小中教員の乗り入れ授業についても協議されました。

